

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	0	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	33	22	ヘルパンギーナ	75	107
咽頭結膜熱	14	15	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	80	77
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	23	20	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	215	172	流行性角結膜炎(はやり目)	20	14
水痘	31	14	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	181	265	無菌性髄膜炎	0	1
伝染性紅斑(りんご病)	5	11	マイコプラズマ肺炎	4	6
突発性発しん	39	52	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

- 感染性胃腸炎は、報告数 215件(前週報告数 172件)と増加。地区別では、人吉、有明、山鹿、宇城に多く報告がみられる。年齢別では、1歳及び10~14歳の34件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 手足口病は、報告数 181件(前週報告数 265件)と減少。地区別では、八代、天草、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、2歳の51件を最多に、10~14歳以下からの報告である。
- 流行性耳下腺炎は、報告数 80件(前週報告数 77件)と増加。地区別では、有明、熊本、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、4歳の17件を最多に、主に10~14歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	19	7	8	47	13	41	2	16			13	36		13				3
山鹿保健所			1	14	2	5	1				1	2	*	*				
菊池保健所	8	3	5	17		26		10			12	9		6				
阿蘇保健所				1	5		3						*	*				
御船保健所				2									*	*				
八代保健所	1	1	3	21	1	41	2	4			5	2						
水俣保健所				4	2	2	1				1	4	*	*				
人吉保健所				2	39	3	14		2		8	2	*	*				1
有明保健所	2			35	8	7		4			2	20		1				
宇城保健所	3			21	1	11		1			6	4						
天草保健所			2	4	10	1	31	1			27	1						
計	0	33	14	23	215	31	181	5	39	0	75	80	0	20	0	0	4	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	33	2	7	12	8	4																
咽頭結膜熱	14		1	3	3		3	1	2				1									
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	23				1	1	1	5	3	4	4		3		1							
感染性胃腸炎	215	6	25	34	21	15	20	7	7	9	6	8	34	7	16							
水痘	31	2	2	8	6	3	7	1	1				1									
手足口病	181	4	15	50	51	30	14	3	3	3	1	2	5									
伝染性紅斑	5			2		1	1		1													
突発性発しん	39	1	17	20	1																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	75	1	14	17	15	10	6	3	2	4	1	1	1									
流行性耳下腺炎	80		1	4	3	15	17	14	10	6	3	1	5		1							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	20					2	2		1		1		1		5	7	1					
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	4		2		1											1						
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代 人吉・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：菊池・人吉・天草

RSウイルス感染症



今週の報告数は、33件と先週の22件から増加しました。1歳児が12件、2歳児が8件、6~12ヶ月が7件と乳幼児を中心に報告されています。RSウイルス感染症は、冬に多く発生しますが、今年は例年に比べ増加の時期が早いです。今後の動向に注意が必要です。RSウイルス感染症では、一般的には、鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」の症状がみられ、1~2週間で軽快します。RSウイルスには、2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかっていますが、初めてかかった場合では、約30%に細気管支炎や肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。乳幼児のいる家庭などでは、家族全員で注意をしましょう。RSウイルスは咳やくしゃみの飛沫(ひまつ)から感染します。流行期には赤ちゃんを入込み連れに行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いなどが予防に有効です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課